

平成 28 年度 天竜川上流水防連絡会（第 2 回） 下伊那地域 メモ

平成 28 年 8 月 8 日 13:45~14:30

飯田合同庁舎 講堂（3 階）

出席者：別紙のとおり

配付資料：資料-2

取材：飯田ケーブルテレビ、南信州新聞社

■ 質疑応答

高森町) ソフト対策についての目標が中心であるが、ハード対策について具体的な目標年度を示して欲しい。浸水想定区域については、堤防整備完了することで浸水エリアが変わるような方法がとれないものか。

天竜川上流) 最大規模の降雨を想定した今回のビジョンではハード対策だけの限界があり、人命を救うためにソフト対策が重要となる。堤防の質的改良は平成 32 年度までに行うこととしており、決壊しにくい堤防とすることで避難する時間を作る。河川整備計画で具体的な記述はしており、ご理解頂きたい。

現在、浸水想定区域については最大想定規模として 1/1000 確率の洪水が発生した場合の検討をしており、整備水準である 1/100 を上回るものであることを理解いただきたい。

飯田市) 天竜川上流における 5 年間の取り組み目標について、了解することでよろしいか。

下伊那関係市町村長) 了解。